

2018 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	祇園地区青少年健全育成連絡協議会
活動テーマ	祇園地区「緊急災害時 子ども 119 番」 ～第三回幼・保育園児緊急時避難訓練～ 【 近隣の安全な施設への逃げる訓練 】

平成 30 年 10 月 30 日安佐南郵便局 3 階へ避難訓練



園庭に集合する祇園保育園園児たち



避難所の階段を昇るぎおんナーモ保育園園児たち

平成 30 年 11 月 6 日広島経済大学興動館 4 階へ避難訓練



避難所階段を昇るあい保育園祇園園児たち



避難所に到着、館内での集会中のあい保育園祇園・保育所みのり祇園の園児たち

【目的】：「地震/地震による火災発生」を想定した訓練で、園児たちを緊急に「近くで、安全な場所」へ一時的に速やかな避難をする訓練とし、この訓練での避難所は、行政指定の避難所へ移動する前に、取敢えず、一時的に園児たちの身の安全を図るためのもので、一般の方々の為の避難所ではなく、園児たちが一時の避難する為だけの避難所として避難先に協力を得て実施し、メリット、デメリットを抽出することが大きな目的です。(10/30 祇園保育園/ぎおんナーモ保育園、11/06 あい保育園祇園/保育所みのり祇園が実施)

【成果】：今回実施に当たっては、地震で電源喪失、エレベーター使用不可を想定し、階段を使っでの訓練としました。その為、園児たちが階段を上手に又、順序良く、素早く上ることが出来るかが、訓練での検証の大きな項目としました。結果、3階までの階段を、支援者をしのご勢いで上る事が出来る事を確認することが出来、大きな成果だと思っております。この他にも、地震発生、火災発生に対応しての行動は、各園の日頃の訓練とも相まって非常にスムーズに推移し、消防署への火災発生連絡後、対象園児たちは隊列を組んで、避難所へ向けて行動を進めました。今回設定された避難所は、保育園より遠い園でも数百メートルと近く、支援者に見守られながら順調に避難所到着となりました。

【今後の課題】：今回は3歳児以上の園児が参加しましたが、最終的には0歳～年長組までの全員の避難がうまく出来るかの検証、訓練を要するものと考えており、全園児参加による訓練での問題点を把握、克服することが今後の課題だと考えており、これからも訓練の継続、実施を進めて、幼い園児たち全員が安、全に避難できる体制を構築する事が必要と考えています。